

3 学年だより

新潟市立木崎中学校
令和5年10月3日
第6号

思い出に残る体育祭！

3年生のリーダーを中心に、熱気あふれる応援や競技が繰り広げられました。晴天に恵まれ気温が上昇する中でしたが、パフォーマンスや競技の練習に取り組んできた成果を存分に発揮することができました。

青連合

～連合長～

○阿部 耕大

今回の体育祭で僕は、改めて人をまとめることの難しさを痛感しました。リーダーの人達と考えたことを連合全体が分かるようにすることを繰り返していく内に、伝わりやすい伝え方などが分かってきました。そして、責任感や緊張感で押しつぶされそうになったとき、友達や先生などが支えてくれました。周りに人がいてくれることのありがたさを実感しました。

～パフォーマンスリーダー～

○森山 空

今年の体育祭は、本当に楽しくとてもよい思い出になりました。中学校最後の体育祭だったので今まで以上に全力を出して頑張りました。クラスの団結力が深まった良い体育祭でした。

○樋口 愛姫

今まで人をまとめたり、自分から意見を言うのが苦手だったけれど、これをきっかけに、自分から行動できるようになりました。他にも、曲決めや振り付けなども積極的に案を出し、パフォーマンスリーダーの一員として頑張りました。

○大野 晴士

3年生最後の体育祭では、パフォーマンスリーダーのみんなと積極的に意見を出し合い、最初は上手く完成するか不安でしたが、良くできたと思います。最高な体育祭になって、最高の思い出もつくれて良かったです。

○佐藤 莉乃亜

3年生最後の体育祭では、パフォーマンスリーダーのみんなと積極的に意見を出し合いました。最初はうまく完成するか不安でしたが、当日は最高の踊りが出来たと思います。最高の体育祭、最高の思い出もつくれて良かったです。

～競技リーダー～

○内藤 蓮

体育祭で頑張ったことは、競技リーダーの仕事です。学年リレーや選抜リレーで速さが偏らないように考えました。選抜リレーの走順を考える仕事もありましたが、しっかりやれて良かったです。

○佐藤 凜

競技リーダーで学んだことは、意見を伝える難しさです。作戦を分かってもらうにはどのように言えば良いか考えました。また、去年と違い3年生として、選抜リレーで他学年にも指示を出すことができました。体育祭を通して学んだことを、今後の学校生活に生かしていきたいです。



赤連合

～連合長～

○古沼 里海

体育祭では、連合長というとても大きな役割をさせて頂きいろいろな思い出が詰まった濃い体育祭になりました。リードする大変さ、みんなで団結し頑張る楽しさを、改めて実感させてくれたみんなに感謝したいです。

～パフォーマンスリーダー～

○長谷川 和香

パフォーマンスリーダーになって、みんなをまとめる責任の重さを感じたり、どのように振り付けを教えたか分かりやすいかなど、沢山のことを学びました。大変なこともありました、頑張ってきて良かったなと思いました。そして、私自身も成長し、ダンスがもっと好きになった最高の体育祭でした。

○小林 桃寧

初めてパフォーマンスリーダーになって沢山の不安なことがありました。ですが、練習の時にはカウントを使って分かりやすく教えることが出来ました。そして、一人一人に声をかけることで、分からない所を言うようになるようになりました。私は、リーダーになって、今までよりも人に話しかける勇気が出たと思います。今ではパフォーマンスリーダーになって良かったと思います。

○瀧澤 海斗

体育祭では「バカになれ」、をモットーに、体育祭の練習から本番までムードを盛り上げて、みんなを頑張らせて引張ってきました。みんなが一つの目標に向かって協力できたことでパフォーマンス・競技の部で優勝することが出来たので良かったです。

○志賀 祐琥

体育祭はとても良い思い出になりました。僕は、人に教えることが苦手でしたが、みんなが協力してくれたおかげで、スムーズに教えられたと思います。今年の体育祭では、協力することの大切さが分かり、良かったです。

～競技リーダー～

○大久保 愁花

競技リーダーという立場に立たせてもらい、全体を動かす難しさを知りました。仲間に助けられ、沢山の悩み、考えながら練習を進めました。そんな赤連合全員の努力の成果が結果となり、本気になる楽しさを心から感じる事ができました。

○岩瀬 凌太

競技リーダーとして活動して、不安なことが多かったです。しかし、活動を進めていくうちに、気持ちも軽くなっていきました。最終的に体育祭当日は、競技に全力で取り組むことができて楽しかったです。



道徳の授業から

○道徳の授業内容を紹介します。

題材「障がい者ひとりひとりに目を向けて欲しい」（あらすじ）

車いすで出かける様子を動画で配信している「私」。活動の中でよくかけられる言葉があつて…。障がいのあるなしに関わらず、相手を尊重するってどういうことだろう。

私の気づき

○障がい者の人達の気持ちを理解することができた。

○障がい者だから何もできないと決めつけるのではなく、気持ちを理解することが大切だと思いました。

○先入観をなくし、障がい者ひとりひとりと話をすることが重要だと感じました。

○障がいをもっている人に優しくし、その人の気持ちを考えて行動しようと改めて思いました。

※10月7日(土)は確認テストがあります。